



プラスの言葉は気持ちを和らげてくれるもの。マッサージをしながら「マニキュアがきれいですね」など声をかけると、笑顔を見せてくれる。右はスタッフの皆さんと



### エステの原点を見つめたボランティア活動

# 手のぬくもりが 生む笑顔

真のエステとは何か。大手エステから独立し、「心と癒し」を追求してきたエステティシャンが実現した、老人ホームでのボランティア活動。まだ始まったばかりだが、利用者からは「次はいつ来てくれるの？」と好評だ。

『前橋市ほのぼの荘デイサービスセンター』では昼食が済み、利用者のお年寄りたちが寛ぐ時間。「これからマッサージをしてもらいます。10歳若返りますよ」と職員から声がかかった。

金さんをはじめボランティアで訪れたメンバーは、1人ひとりお年寄りの腕や肩をタオルで包みながら、そつとマッサージしていく。

「テクニクよりも、マッサージを通じた会話や触れ合いが大切なんです。言葉は少ない方でも、心は伝わるはず。気づくとこちらの気持ちも癒されているのは、人と人の間でエネルギーが循環するからでしょうね」という金さんは、ベテランのエステティシャン。月に1回サロンを閉め、スタッフやボランティアで参加してくれる人々と、この活動を始めた。初めて訪ねた施設では、働きかけがやつとかなったうれしさと人生の先輩たちの姿に、涙が止まらなかったという。

「私たちエステティシャンは『お客様の笑顔が見たい』という思いに目を輝かせてデビューしますが、次第に日々の仕事をこなすことで精一杯になってしまいます。ピュアなお年寄りの心と接することで、新人の頃の気持ちを思い出せるのでは。ボランティアを始めた際には、そんな理由もありました」

独立して18年だが、振り返ってみるとあつという間。仕事や子育てで型にはまったような毎日でも、1つひとつのことを楽しむ心がけて新鮮に感じられる、という金さん。ボランティアも、賛同してくれる仲間を増やして細く長く、続けていくのが今の目標だ。

#### 金 美智子さん

20代の頃出会ったエステティシャンの姿に「私がなりたい職業」と感じたという金さん。心と癒しをテーマにしたエステ『ソワン・ド・モア』は、小さなホテルのような雰囲気のある1軒家で、人生経験を重ねた大人のリピーターが多い。金さん自身の癒しは、軽井沢を訪ねること。森林浴や万平ホテルのシャベットが楽しみだとか

(有)モア TEL.027-360-3330 高崎市浜尻町209-5 ボランティア募集中